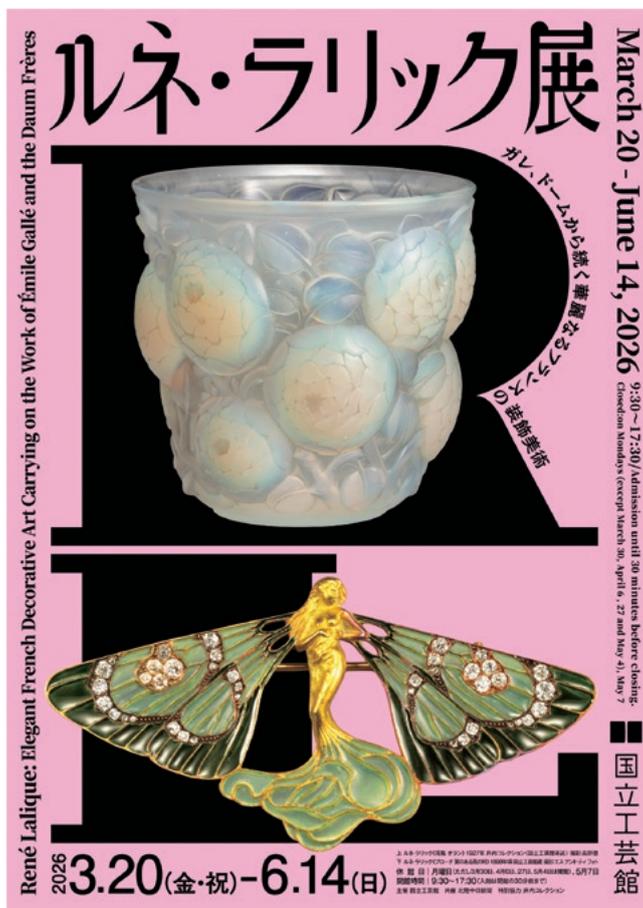


ルネ・ラリック展

ーガレ、ドームから続く華麗なるフランスの装飾美術ー

René Lalique: Elegant French Decorative Art Carrying on the Work of Émile Gallé and the Daum Frères

3月20日(金・祝) ~ 6月14日(日)



会 期：2026年3月20日(金・祝)~6月14日(日)

開館時間：午前9時30分~午後5時30分(入館は閉館の30分前まで)

休 館 日：月曜日(ただし3月30日、4月6日、27日、5月4日は開館)、5月7日(木)

観 覧 料：一般 1,200円(1,100円)／大学生 800円(700円)／高校生 500円(400円)

* ()内は20名以上の団体料金および割引料金。

* いずれも消費税込。

* 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方と付添者(1名)は無料。

* MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバーパートナーは本人のみ)は無料。

* 外国人を引率し通訳案内のために同行する通訳案内士は無料。

* キャンパスメンバーズ加入校の学生・教職員は、学生証・職員証のご提示で割引料金。

* 文化の森おでかけパスをお持ちの方は割引料金。

* 石川県立美術館、金沢21世紀美術館、石川県立歴史博物館、石川県立伝統産業工芸館(いしかわ生活工芸ミュージアム)、金沢市立中村記念美術館の主催展覧会入場券半券を窓口で提示した方は割引料金。

* オンラインによる事前予約もあり。

* 割引料金にて前売り券を12月9日より販売(北陸中日新聞購読者限定)

主 催：国立工芸館

共 催：北陸中日新聞

特別協力：井内コレクション

掲載用問い合わせ先：050-5541-8600(ハローダイヤル)

時代を映し出したルネ・ラリックの作品を中心に 華やかなフランス装飾美術の世界を約120点の作品から紹介

展覧会概要

ルネ・ラリック(1860-1945)はジュエリーとガラスのふたつの分野で活躍したフランスの工芸作家です。19世紀末から20世紀前半、ヨーロッパではアール・ヌーヴォー、次いでアール・デコと呼ばれた美術様式が流行しました。ラリックは優美な曲線に彩られたジュエリーに始まり、ガラスの透明感や色彩を生かした花瓶や香水瓶、カーマスコットなどこの時代を映し出した数多くの作品を発表しました。

本展では国立工芸館に寄託された井内コレクションのラリック作品を中心に、ラリックに先駆けて活躍したエミール・ガレ(1846-1904)やドーム兄弟(オーギュスト:1853-1909 /アントナン:1864-1930)など、同時代の工芸・デザイン作品もあわせてご紹介いたします。ラリックのジュエリーやガラス作品とともに、ガレやドームの多彩なガラス、当時の家具やポスターなど、時代を彩った作品を一堂に会することで、華やかな時代の空気を感じていただけることでしょう。多彩なラリック作品と、フランスの装飾美術の世界をお楽しみください。

本展のみどころ

● 優美で大胆なラリックの作品世界を紹介

アール・ヌーヴォーとアール・デコの流行に合わせて柔軟に変化したラリックの作品は、当時はもとより制作から100年以上を経た現在でも高い人気を集めています。昆虫や植物、人物などの精緻な造形やデフォルメされた自然の風景など、優美かつ大胆なラリックの造形世界をご紹介します。

● フランス装飾美術の流れの中でラリックの作品に注目

2023年に国立工芸館に寄託された井内コレクションのルネ・ラリック作品を中心に、国立工芸館が所蔵する同時代の陶磁器や食器、家具、ポスターなどもご紹介いたします。美しさと実用性を併せ持つ華やかなフランス装飾美術の中でラリック作品の魅力に迫ります。

● 照明デザイナーによるライティングで作品の魅力を最大限に引き出した展示空間

色彩溢れる色ガラスの幽玄な美しさやガラスを透過する光の輝き、角度によって変化する表情などを照明デザイナーによるライティングで引き出します。人々を魅了し続けるガラス作品の煌めきをご堪能ください。

展示構成

1章 ガレとドーム／情景を描く

幽玄な色ガラスや月光色と名付けられた水色のガラスでトンボや蘭、藤などをガラスに描き出したガレの作品と、四季の風景や花々を明朗でのびやかな色彩のガラスで表現したドーム兄弟の作品から、ガラスに描かれた自然の風景をご紹介します。

2章 ラリック／ジュエリーからガラスへ

ラリックが制作したジュエリーは、ガラスなどの新たな素材を用いた大胆なデザインで当時の人々を驚かせました。ジュエリーに続いてラリックが制作した花瓶や立像にも優美な人物像や繊細な植物が表現され人気を博しました。色彩豊かなジュエリーと、透明感や色彩を活かしたガラス作品をご紹介します。



No.3



No.4



No.5



No.1

3章 時代とともに／ラリックとアール・デコ

量感のあるダイナミックなデザイン、魚や鳥など生き物を抽象化したモチーフなど、ラリックの表現にもアール・デコ様式の影響が見られるようになります。本章では、この時代のラリックを代表する乳白色の花瓶やカーマスコットなどを、ラリックのジュエリーを愛用した女優サラ・ベルナルを描いたミュシャのポスター、シャローの家具などともにご紹介します。



No.2



No.8



No.9

関連イベント

「ラリックの革新ーガラス宝飾の魅力ー」

ガラス宝飾の歴史からラリックの作品制作についてお話しいただきます。

日時：3月28日(土) 午後1時30分～午後3時 (開場 午後1時)

登壇者：土田ルリ子 氏 (富山市ガラス美術館長)

定員：45人 (要予約・要観覧券※半券可)

会場：国立工芸館 多目的室

主催：兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会

申込方法は当館ホームページをご確認ください。内容や日時は都合により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

記者発表会・内見会

3月19日(木) 午前11時30分～午後1時 (受付開始 午前11時30分)

(記者発表 午前11時50分～午後0時30分)

一般公開に先駆けて報道関係の皆さまのみの発表会および内見会を行います。

参加ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでご連絡ください。

次回展予告

子どもとおとなの自由研究 もようわくわく²

7月3日(金)～9月23日(水・祝)

すっきり・さっぱりしたものもいいけれど、やはり模様を見ると心が沸き立ちます。なぜなら模様世界には私たちの「お気に入り」が集められ、心からの「願い事」だっこめられているのだから。単数vs複数、幾何学形体vs物理・化学の現象、動物vs植物など模様のモチーフや表し方を見比べながらあなたの「好き」を訪ねませんか？楽しく学べるキットもご用意します。

磯矢阿伎良
《はないかだ文様長手文庫》(部分)
1934年 国立工芸館蔵



国立工芸館
National Crafts Museum

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2
<https://www.momat.go.jp/craft-museum>



アクセス バスにて JR金沢駅兼六園口(東口)より
【北鉄バス】

3番乗り場：乗車、「広坂・21世紀美術館(石浦神社前)」下車徒歩7分

6番乗り場：乗車(「柳橋」行を除く)、「出羽町」下車徒歩5分

8番乗り場：乗車、「広坂・21世紀美術館(しいのき迎賓館前)」下車徒歩9分

車にて 北陸自動車道金沢西ICまたは金沢森本ICから20～30分
近隣に文化施設共用駐車場(無料)があります。



報道関係の方の
お問い合わせ先

国立工芸館 広報事務局 (株式会社OHANA内)

Tel:03-6869-7881 Fax:03-6869-7801 E-mail:ncm@ohanapr.co.jp

広報用画像一覧



No.1
 ルネ・ラリック
 《ブローチ 翼のある風の精》1898年頃
 国立工芸館蔵
 撮影：エス・アンド・ティ フォト



No.2
 ルネ・ラリック
 《花瓶 オラン》1927年
 井内コレクション（国立工芸館寄託）
 撮影：品野壘



No.3
 エミール・ガレ
 《オダマキ文花瓶》1898-1904年頃
 国立工芸館蔵
 撮影：エス・アンド・ティ フォト



No.4
 ドーム兄弟
 《カシワ文花瓶》1906年頃
 国立工芸館蔵
 撮影：エス・アンド・ティ フォト



No. 5
 ルネ・ラリック
 《香水瓶 4匹のセミ》1910年
 井内コレクション（国立工芸館寄託）
 撮影：品野壘



No.6
 ルネ・ラリック
 《花瓶 バッタ》制作年不詳
 井内コレクション（国立工芸館寄託）
 撮影：品野壘



No.7
 ルネ・ラリック
 《立像 小首を傾ける女》1919年
 井内コレクション（国立工芸館寄託）
 撮影：品野壘



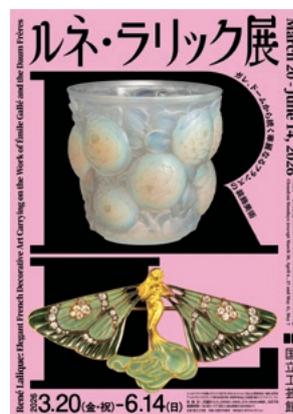
No.8
 ルネ・ラリック
 《カーマスコット ロンシャン》
 1929年
 国立工芸館蔵



No.9
 アルフォンス・ミュシャ
 《サラ・ベルナル》1896年
 国立工芸館蔵



No.10
 ビエール・シャロー
 《書斎机、椅子》1928年頃
 国立工芸館蔵



No.11 展覧会チラシ

* 上記画像No.1~11を広報用にご提供いたします。
 ご希望の方は当館ホームページの画像提供システムよりお申し込みください。
<https://www.momat.go.jp/craft-museum/reproduction>



* 展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券（5組10枚）をご用意しております。
 ご希望の方は画像申請の際に「その他」欄よりお知らせください。